



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月12日

上場会社名 アジアパイルホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5288 URL <https://www.asiapile-hd.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長最高執行役員 (氏名) 黒瀬 修介
 問合せ先責任者 (役職名) 企画部長 (氏名) 鈴木 秀明 TEL 03-5843-4173
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	27,366	27.4	2,858	259.9	2,946	263.8	2,000	418.0
2025年3月期第1四半期	21,484	△14.1	794	△59.1	809	△54.8	386	△69.9

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 2,082百万円 (188.7%) 2025年3月期第1四半期 721百万円 (△57.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	52.53	—
2025年3月期第1四半期	10.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	98,399	50,360	47.8
2025年3月期	97,395	49,314	47.0

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 47,040百万円 2025年3月期 45,730百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	22.50	—	22.50	45.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	24.00	—	24.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	111,000	10.1	7,300	68.4	6,800	75.6	4,200	79.0	110.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。詳細は、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有
除外 1社 (社名) VJP Co., Ltd.

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料 7 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期1Q	38,089,792株	2025年3月期	38,089,792株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	942株	2025年3月期	942株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期1Q	38,088,850株	2025年3月期1Q	38,088,850株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料 2 ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績に関する説明	2
(2) 当四半期の財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、個人消費や設備投資といった内需を中心に、景気は緩やかな回復がみられる一方、米国の通商政策の不確実性や世界各地の地政学的リスクの継続などから、依然として先行き不透明な状況が続いています。

当社グループが事業展開しているベトナムでは、政府による公共投資拡大や消費刺激策等により、経済全体が回復基調にあります。またベトナムは国際的な生産拠点の一つとして重要性を高めており、今後の成長も期待されています。

当期間における各セグメントの概況は次の通りです。

① 国内事業

国内事業では、省力化・省人化投資やサプライチェーン強化への投資等、先行きの建設需要は底堅いものの、建設費の高騰や労働力不足、働き方改革、工期長期化等の課題が重なり、ゼネコンサイドにおいて着工時期の設定等に慎重になる傾向が続いています。そのため、新規着工及び基礎工事の需要回復は緩やかであり、国内コンクリートパイル業界の全体出荷量は、前年同四半期比で5.4%の増加となりました。

一方、当社グループは、事業基盤の強化を図るべく大径・大規模工事へのシフトによる効率化を推進し、工事の大型化による短期的な業績変動幅が大きくなる傾向にあります。こうした中、すべての基礎杭（コンクリートパイル、鋼管杭、場所打ち杭）の特性を生かした最適な基礎構築提案によるワンストップ営業を推進しております。また、主力工法である「Smart-MAGNUM工法」の性能向上・施工効率改善等に継続的に取り組み、当社グループのコンクリートパイル出荷量は前年同四半期比23.5%の増加となりました。

結果、国内事業の売上高は230億88百万円（前年同四半期比23.5%増）、営業利益は25億63百万円（同204.6%増）となりました。

② 海外事業

海外事業では、ベトナムの事業子会社Phan Vu Investment Corporationは、経済全体の回復傾向から、地域差はあるものの工場稼働率は改善し、生産量も回復傾向にあります。

結果、海外事業の売上高は42億92百万円（前年同四半期比52.8%増）、営業利益は2億90百万円（前年同四半期は営業損失73百万円）となりました。

※2025年6月25日に提出の有価証券報告書の「重要な後発事象」に記載のとおり、ミャンマーの事業子会社VJP Co., Ltd.について、2025年6月20日付で同社株式の売却が完了しており、当第1四半期連結会計期間末より子会社ではなくなりました。なお、当第1四半期連結会計期間の業績に与える影響は軽微であります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は273億66百万円（前年同四半期比27.4%増）となりました。利益面では、営業利益は28億58百万円（同259.9%増）、経常利益は29億46百万円（同263.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は20億円（同418.0%増）となりました。

（2）当四半期の財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ10億3百万円増加し、983億99百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が36億68百万円増加しましたが、受取手形、売掛金及び契約資産などの売上債権が合計32億70百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ43百万円減少し、480億38百万円となりました。主な要因は、借入金も合計で5億34百万円、リース債務が合計で1億44百万円それぞれ増加しましたが、支払手形及び買掛金やファクタリング未払金などの支払債務が9億33百万円減少したことによるものであります。

純資産については、親会社株主に帰属する四半期純利益計上による増加20億円、剰余金の配当による減少8億56百万円、その他有価証券評価差額金の増加2億22百万円、為替換算調整勘定の減少55百万円、非支配株主持分の減少2億63百万円などの結果、前連結会計年度末に比べ10億46百万円増加し503億60百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年5月14日の「2025年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,138	23,806
受取手形、売掛金及び契約資産	31,528	27,731
電子記録債権	3,427	3,955
未成工事支出金	2,161	2,296
商品及び製品	6,755	5,999
原材料及び貯蔵品	2,023	2,011
その他	1,723	1,513
貸倒引当金	△2,895	△2,712
流動資産合計	64,862	64,601
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,268	9,131
その他（純額）	16,587	17,764
有形固定資産合計	25,856	26,895
無形固定資産		
のれん	61	53
その他	555	559
無形固定資産合計	617	613
投資その他の資産		
その他	6,099	6,328
貸倒引当金	△39	△39
投資その他の資産合計	6,060	6,289
固定資産合計	32,533	33,797
資産合計	97,395	98,399

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,276	10,777
電子記録債務	3,262	2,760
ファクタリング未払金	7,784	7,850
短期借入金	9,826	11,002
1年内返済予定の長期借入金	2,099	1,945
未払法人税等	938	844
契約負債	900	947
賞与引当金	769	462
完成工事補償引当金	44	42
工事損失引当金	134	8
その他	3,104	3,858
流動負債合計	40,141	40,501
固定負債		
長期借入金	5,153	4,665
役員退職慰労引当金	245	253
退職給付に係る負債	902	913
その他	1,637	1,704
固定負債合計	7,939	7,536
負債合計	48,081	48,038
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,621	6,621
資本剰余金	8,697	8,698
利益剰余金	27,826	28,972
自己株式	△0	△0
株主資本合計	43,144	44,292
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,477	1,700
為替換算調整勘定	1,064	1,008
退職給付に係る調整累計額	42	38
その他の包括利益累計額合計	2,585	2,747
非支配株主持分	3,583	3,320
純資産合計	49,314	50,360
負債純資産合計	97,395	98,399

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	21,484	27,366
売上原価	18,211	21,776
売上総利益	3,273	5,589
販売費及び一般管理費	2,479	2,731
営業利益	794	2,858
営業外収益		
受取利息	4	41
受取配当金	55	61
持分法による投資利益	41	44
為替差益	—	97
その他	54	41
営業外収益合計	156	286
営業外費用		
支払利息	126	182
その他	14	15
営業外費用合計	140	198
経常利益	809	2,946
特別利益		
固定資産売却益	7	0
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	7	1
特別損失		
固定資産除却損	11	7
投資有価証券評価損	2	0
関係会社株式売却損	121	—
特別損失合計	135	7
税金等調整前四半期純利益	681	2,941
法人税等	349	884
四半期純利益	332	2,056
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△53	56
親会社株主に帰属する四半期純利益	386	2,000

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	332	2,056
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16	222
為替換算調整勘定	333	△161
退職給付に係る調整額	△4	△4
持分法適用会社に対する持分相当額	42	△30
その他の包括利益合計	388	25
四半期包括利益	721	2,082
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	573	2,493
非支配株主に係る四半期包括利益	147	△411

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	834百万円	767百万円
のれんの償却額	4	4

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内事業	海外事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,676	2,808	21,484	—	21,484
セグメント間の 内部売上高又は振替高	14	—	14	△14	—
計	18,690	2,808	21,498	△14	21,484
セグメント利益又は損失 (△)	841	△73	768	25	794

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額には、セグメント間取引消去、のれんの償却額などが含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内事業	海外事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	23,074	4,292	27,366	—	27,366
セグメント間の 内部売上高又は振替高	14	—	14	△14	—
計	23,088	4,292	27,381	△14	27,366
セグメント利益	2,563	290	2,854	4	2,858

(注) 1. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去、のれんの償却額などが含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。